

令和6年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
1	自民・笑顔の会 代表質問 16番 南方 泉 （質問方式） 一問一答	1. 災害時の在宅避難者について	（1）避難行動要支援者について ①避難行動要支援者：高齢者や障がい者、妊産婦、登録を希望する外国人の人数や実態など ②土砂災害等の危険が及ぶ地域に住む避難行動要支援者の把握について （2）在宅避難者の把握について
		2. 「国民保護法」に基づく本市の国民保護計画について	（1）国民保護計画について市民への周知について （特殊標章等の周知やポスターでの啓蒙啓発について） （2）本市では国民保護計画に基づいた訓練や・住民参加型の訓練は行われていないが、市民に周知を求める （3）全国瞬時警報システム（Jアラート）の仕組みと設定について （Jアラート受信に必要な携帯端末等が設定できていない市民への周知について）
		3. 本市駅前周辺整備について	（1）南海高野線滝谷駅の周辺整備について（南海電鉄との協議の再開を求める） （2）狭い滝谷駅前の車転回スペースやミニロータリーの整備についての提案 （3）河内長野市と広域で地域連携しながら「滝谷駅」の共同整備計画を求めている ・南海滝谷駅の利用者は半分が河内長野市の利用者であることから広域で連携が必要ではないか （4）富田林駅南広場整備について ・一般車の乗降場所、転回スペースについて
		4. 教科書選定について	（1）令和7年度使用中学校教科用図書について ①中学校教科書採択の仕組みやスケジュールと内容について （調査員、選定委員、教育委員会会議等について） ②中学校教科書採択について市民や団体からの意見が非公開になっているが公開を求める （2）教科書展示について ①大阪府内の各自治体及び本市の本年度の開催日について ②忠岡町の開催日より本市の開催日が遅かったことについて （3）中学校美術の教科書について ①中学1年生だけ別冊があることの問題点について
2	大阪維新の会 代表質問 3番 岩崎 哲也 （質問方式） 一問一答	1. 本市の中学校給食について。	（1）デリバリー方式における学校給食の量の調整やアレルギー対応等について。 （2）デリバリー方式における地産地消の取組みの継続について。 （3）学校給食の恒久無償化を見据えた一部補助の取組みについて。
		2. 本市のゴム井堰について。	（1）ゴム井堰の改修に係る本市独自の負担軽減策について。 ①欠田井堰の修繕工事以降においても本市独自の負担軽減策は適用されるのか。 ②本市独自の負担軽減策はどこに明記されているのか。 ③独自の負担軽減策を継続するのであれば、条例等に明記されているべきではないか。 （2）大阪府議会令和6年9月定例会の一般質問について。 ①ゴム井堰の更新に係る協議に対する本市の関わり方について。 ②本市の地元水利組合に対する指導について。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 本市の高齢者の外出支援について。	(1)生活支援が必要な高齢者に対して外出支援の負担軽減について。 ①要介護者等に対して外出支援の負担軽減をされてはどうか、市の見解を聞く。 ※伊勢市の取組みについて言及する。 ②本市のホームページに介護タクシー等について詳しく掲載できないのか、本市の見解を聞く。 ※西脇市や伊勢市の取組みに言及する。
		4. 本市の空き家対策について。	(1)空き家バンクの利用率が悪いことに対してどのように考えているのか。 ①利用率も悪く今後の活用見込みが悪いのであれば廃止してはどうか。本市の見解を聞く。 (2)これから増えていく空き家に対して予防対策をされてはどうか。 ①空き家の予防対策として、空き家予防セミナーを取り組んでどうか。本市の見解を聞く。
		5. 本市の市民公益活動について。	(1)市民公益活動 元気なまちづくり活動について。 ①市民公益活動団体に対して、3年後の自立に向けて本市は、どのようなサポート等を行っているのか。本市の見解を聞く。 ②補助金が切れる3年後、市民公益活動団体に対して、自立後のフォローはどのように行っているのか。本市の見解を聞く。
		6. 社会の変化に合わせた機構改革について	(1)DX（デジタルトランスフォーメーション）やBPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング）等を推進するための体制について。 ①DXやBPRを推進する必要性やこれまでの取り組み等について、執行部はどのように認識し、どのように取り組んで来たのか。 ②DXやBPRを推進するための体制について。 ※現状のデジタル推進室や行政管理課行財政改革係のままで、DXやBPRの推進は難しいため、両者を統合するとともに、人的体制も拡充して新しい部署を作ってはどうかと考えるが、執行部の見解を求める。 ※毎年2～3課程度を選定し、選定先にDXやBPRを推進するための職員を貼り付けるなどして、DXやBPRを推進する体制を整えてはどうか。 ③DXやBPRを推進するための仕組みづくりについて。 ※DXやBPRの推進のための予算を一定額確保し、削減が見込める工数や時間等と、回収までに要する期間等を考慮の上、メリットの方が大きいと判断できるものについては、躊躇無く挑戦できるような仕組みを作ってはどうか。 (2)市が保有する債権を一元管理し、効率的・効果的な債権管理をするための体制やシステムの導入について。 ①市が保有する債権の種別（強制徴収公債権、非強制徴収公債権、私債権）を問わず管理する部署（仮称・債権管理課）を作ってはどうか。 ※一元管理によるメリット、デメリットについても言及し、合わせて執行部の見解を求める。 ②本市の取組みに合うようなシステムを導入するためにも、仮称・債権管理課を先行して設置した上で、より具体的な検討を行ってはどうか。 ※基幹業務システムの標準化は当初予定していた令和7年度から遅れる見通しとのことであるが、標準化のタイミングに合わせて滞納整理等に資するシステムを導入し、スムーズに移行するためにも、早期の設置を求めるが執行部の見解を求める。

令和6年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			(3) 都市魅力課のあり方について。 ①そもそも本市は「都市魅力」や「シティセールス」をどのように定義しているのか。 ②大阪・関西万博を契機として、その後も見越したインバウンドの受け入れ体制の構築等、観光施策の充実と、本市の魅力等の情報発信を一体的に取り組む体制を作ってはどうか。 ※観光とシティセールスは不可分のものだと考えるが、現状、「部」をまたいで「商工観光課観光振興係」と「都市魅力課シティセールス係」に分かれていることについて、執行部はどのように考えているのか。 (少なくとも両係が同じ「部」または「課」にあった方が良いのではないか。) ③公民連携デスクは政策推進課等に移管した方が良いのではないか。 ※公民連携デスクを都市魅力課に設置している理由等についても聞く。
3	公明党 代表質問 7番 堀辺まゆみ	1. 防災施策のさらなる充実をめざして	(1) ペット同行避難の際の、飼育場所の開設と運営のための「スターターキット」の導入を求めて (2) 「災害派遣トイレネットワーク『みんな元気になるトイレ』」の取り組みに参加し、トイレトレーラーを常備・災害時派遣することを求めて（資金集めの手法としてふるさと寄附金でクラウドファンディングを募る）
	(質問方式) 一問一答	2. 誰もが安心して過ごせる学校のために	(1) 市内小中学校各校に、運動場や体育館での授業など、日常の授業で大きな声で周知する際に威力を発揮する「防災マルチハンドマイク」の配置を求めて（災害時には、避難所となる小中学校体育館で活用する） (2) 外国にルーツを持つ児童生徒の学びの環境整備について ①日本語指導が必要な児童生徒の実態把握方法について ②日本語指導が必要な児童生徒数と支援内容について ③教科書バリアフリー法の改正を受けて、日本語指導が必要な児童生徒に音声教材の活用をする意義について ④今後、音声教材の周知や利用促進をするための方法について (3) 学齢期の子どもたちへの支援体制の強化について ①本市におけるスクリーニングシートの種類や使用目的、導入状況、成果と課題について ②本市のスクリーニングシートを通じた適切な支援への繋がりについて
		3. 指定管理者選定委員会の公平性・中立性・専門性を確保した委員構成を求めて	(1) これまでに外部委員を委嘱して選定した指定管理施設と委員構成、委員の委嘱基準について (2) 委員構成から理事者・関係職員を除き、学識経験者のみとし、関連実務専門職を委員に加えるなど、委嘱基準を明確化することについて（茨木市など）
		4. 富田林市DX戦略と行財政経営改革ビジョン、柱Ⅱ．効果的な行政運営の推進の「事務事業の効率化」について	(1) 「ICT技術の積極的な活用」の「定型作業の自動化」にある令和6年度の目標値20事務の進捗状況とその内容について (2) DX戦略の「業務プロセスの再デザイン」にある「AI・RPAの利用拡充」進捗状況とその内容・効果と今後について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		5. 市役所の倫理観の更なる向上について	(1) 市役所における職員の不正受給及び不適正な事務処理への対応とその後の取組みについて（職員研修はおこなったのか？） ※過去5年間の懲戒処分状況についても合わせて聞く。 (2) 今後同様の事案が起こった時の対応はどうするのか？ (3) 今後同様の事案が起きた場合職員研修を案件ごとに行うべきだと考えるがどうするのか？全職員（幹部含む）を対象にして研修することを求めている
		6. 市内の街路樹の維持管理およびこれからの計画的な整備について	(1) 街路樹の効果・効能樹種について (2) 市内の維持管理をしている街路樹の樹種と樹齢また、高木・中低木の本数とそれぞれ維持管理している本数について (3) 植栽されている街路樹の特徴と住民から寄せられる苦情、相談の内容とその対応策について (4) 狭い歩道に植えられ、かつ坂道にある街路樹問題の把握と今後の問題解決について (5) 今後の計画的な街路樹整備及び取組みについて
		7. 障がいのある方が自立して自分らしく、生き生きと暮らすための就労支援について	(1) 障がい理解啓発について (2) 就労支援事業所の工賃向上への取組みについて (3) 生産活動のスペース確保について (4) 施設外就労を活用した障がい者雇用の推進について (5) 情報発信の改善について
		8. 保育所等における多子世帯の保育料負担軽減について	(1) 本市の保育料算定方法と負担軽減の現状について (2) 近隣市町村の負担軽減状況について (3) 多子カウントにかかる年齢制限、所得制限の撤廃について、市の見解を聞く
		9. 市民に身近なコンビニエンスストアにAEDを設置するために	(1) 本市施設のAED設置済数について (2) 本市の住民等によるAEDの使用実態について (3) 本市のコンビニエンスストアの数と他市のコンビニエンスストアへの導入事例について (4) 本市コンビニエンスストアにAEDの設置を求めている
		10. 家庭から出る廃食油のリサイクル推進について	(1) 廃食油回収の経緯と現状について (2) 回収された廃食油の用途について (3) 廃食油のリサイクル方法の周知と環境意識向上の取組みについて (4) 回収拠点の充実について
4	とんだばやし未来 代表質問 12番 辰巳 真司	1. 人権にかかわる課題について	(1) あいつぐ公務員による差別事象にかかわって ①富田林市での人権研修等の施策を充実することについて (2) インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害に対する対応について ①「情報流通プラットフォーム対処法」（「情プラ法」）について ②富田林市民がインターネット上の人権侵害を訴えていることについて ③インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例にもとづき、相談事業やインターネットリテラシー向上の取り組み、インターネット上のモニタリングなど、具体化を求める
	(質問方式) 一問一答	2. 税収外収入の大切さと、その確保策について	(1) 寄附金等を活用した事業の実績と市民・企業等からの反応について (2) 寄附金等を活用した事業の種類拡大に向けた検討状況について (3) クラウドファンディングやふるさと納税を活用した各種施設の充実について（河内長野市の事例を参考に） (4) 寄附金等の取り扱いに関する透明性と信頼性の確保（寄附金の用途等の公開）について

令和6年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 観光行政を抜本的にテコ入れすることについて	(1) 「観光推進元年」と位置付けて、更なる「まちの魅力」発信と観光行政を抜本的に推進する体制の補強や予算的な措置の再考が必要ではないか ※大阪来てな！キャンペーンについても言及する (2) 広域連携の「観光局」を富田林市から発信・提案していくべきだと考えるが
		4. 本市におけるPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）の取り組みについて（三重県桑名市を視察して）	(1) 本市におけるPFI、ネーミングライツ、指定管理者制度、公有財産を活用した収入確保など本市の財政的または人的負担軽減に資する取り組みの現状について ①これまでの主な具体的事例 ②どのようにして事業実施を実現しているのか。募集から実施決定までの流れは？ ③PPPがもたらす効果について (2) 本市公民連携デスクについて ①本市公民連携デスク設置の背景および経緯について 本市を取り巻く環境や社会情勢について ②公民連携デスクの役割と提供するサービスの内容 ③公民連携デスクが重視していること (3) 今後の方向性について ①本市のPPPがめざすべき姿は ②職員意識の醸成を
		5. 富田林市まちかどミュージアム事業～「ミュージアル」と関連する取り組みについて	(1) 富田林市まちかどミュージアムの拡大について ①ミュージアルと若者会議の提案との関係について ②まちかどミュージアム事業の今後の展開について (2) 栗ヶ池の周辺を周遊する計画について、現在の進捗状況について (3) 栗ヶ池の計画に関して、観光面・健康づくりの観点からの取り組みについて
5	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. 市立幼稚園の今後の方針について	(1) 令和10年度の入園児が見通しを持って選択できる環境について (2) 公の幼児教育を受けることができる環境の確保について (3) 令和7年度入園児数が全園で10人を下回っている現状と市が与えた影響について (4) 市長が考える子どもの最善の利益の矛盾について (5) 令和10年度以降の幼稚園教諭について (6) 市立認定こども園の設置について
		2. 商工観光とシティセールスの課題と強化について	(1) 現状の課題認識について (2) 商工観光・シティセールスの効率化と組織改革について
		3. 高齢者施策について	(1) 緊急通報システムの充実について (河内長野市の高齢者等総合見守りシステムについても言及) (2) ケアマネジャーの介護報酬加算について ①加算算定時の市の対応について ②適正な加算の算定ができる取り組みについて

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
6	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 防災・減災の取組みについて	(1) マンホールトイレの普及促進及び学校利用計画の内容と今後の展望について（大伴小学校での防災訓練を受けて） (2) 備蓄品の現状と強化を求めて（各家庭での備蓄への啓発と民間事業者等との連携に言及） (3) 防災人材の育成について（愛媛県での防災士取得支援について言及）
		2. 防犯対策強化について	(1) 特殊詐欺被害の現状と防止対策について ①防犯教室や啓発活動の現状と内容、それらを踏まえ課題等はどう対処するのか ②本市における特殊詐欺被害防止対策及び、特殊詐欺被害防止サポーター制度の創設により、一人でも多くの方が特殊詐欺に遭わないよう対策を求める
		3. 小学校における水泳指導の委託について聞く	(1) 今年度のモデル実施における取り組み状況について ①モデル実施に至る経緯と目的及び効果について ②モデル実施による現時点での効果検証について (2) 今後の方向性について ①モデル実施を踏まえて、今後どのように事業を展開して行くのか（既存施設についても言及のこと） ②事業実施対象校の拡大を図るのであれば、教育の機会均等の観点からも、16小学校で一斉に拡大すべきと考えるが教育委員会の見解は
		4. 地域産業・中小企業の活性化の取組みについて	(1) これまで求めて来た企業立地促進への取り組みと成果、中小企業への経営サポートへの支援拡充策について聞く（産業集積促進地域指定と市内金融機関等との連携について言及） (2) 市内中小企業の実態とニーズ把握を踏まえた施策立案を求めて ①オープンファクトリー実施への本市サポートや市内企業の雇用促進につながる奨学金返還支援制度への取り組みについて（河内長野市や大阪府での取り組みに言及）
7	13番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 本市の訪問介護事業の現状改善を求めて	(1) 訪問介護事業所の昨年度と今年度の事業所数と過去5年間の事業廃止件数を聞く。また、今年度処遇改善加算を申請している事業所数も併せて聞く。 (2) 介護職員の処遇改善の内容とそれに対する関係者の声や市の見解を聞く。
		2. 地産地消と食育の充実を求めて	(1) 新規就農者への支援制度の現状を聞く 「富田林市農業次世代人材投資資金交付」事業の目的に対して、農政新時代に必要な人材力の強化になっているのか、また成果と現時点での課題 (2) 富田林市農業振興ビジョン第四章「施策体系と取り組み・数値目標」にある「市民の健康を支え、地域産業を育てる『地産地消』の推進」について ①小学校給食での市内農産物の利用率目標が2020年度は6%から2026年度には10%とあるが、2023年度の目標の達成状況を聞く。 ②中学校給食での市内農産物の利用は2023年度で何%利用されているのか聞く。小学校だけでなく中学校給食への市内農産物の利用率と目標について聞く。 (3) 食育推進計画について 食育推進事業の具体的な取り組みに、小学校から途切れることなく、中学生の保護者も対象に取り組むべきだと考えますが、市の見解を聞く。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		3. 自校方式での中学校全員給食を求 めて	(1) 中学校給食の現状と見直しについて 2021年度と2022年度はコロナの影響で喫食率が減少傾向だが昨年度は大きく増加している。喫食率何%までなら、現在の自校給食の調理場で賄えるのか。 (2) 中学校給食のあり方基本方針（素案）について ①「中学生にとって、栄養管理や望ましい食生活の形成のために」必要な環境は何か、また「生きた教材」とはなにかも併せて聞く。 ②基本的な考え方にある「給食を通じた食育の推進」について、「地元食材の活用」や「健全な食生活の実現の為に」必要な環境や取り組みは何か具体的に市の考えを聞く。 ③デリバリー方式を実施して、市外の業者に委託している市はどこか、他市の業者に委託し、尚且つ地元食材の活用を実施している市があるのかお聞かせください。 (3) 中学校給食に関するアンケート調査について デリバリー方式について意見を聞く項目が無いのはなぜか聞く。
		4. 大阪広域水道企業 団への統合につ いて	(1) 職員の身分移管の現状を聞く (2) 企業団へ身分移管する職員の処遇について聞く。 企業団で「人員削減」が企業団目標にかかげられているかも併せて聞く。 (3) 身分移管せず、本市職員として残る職員の処遇について聞く。
8	2 番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 子どもに対する 性暴力防止等につ いて。	(1) 日本版DBS（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律「通称：こども性暴力防止法」）等について。 ※本市は、性犯罪を許さないという強い姿勢を示す必要があると考えるが、市として、この法律をどのように認識し、現状どのような対応をしているのか、市の見解を聞く。 ※子どもと関わる職種の性暴力対策について、今後の対応を聞く。 (2) 水泳指導民間委託における性暴力防止等について。 ※現在、モデル実施をしている委託先のスイミングスクールにおいて、性暴力防止に対する具体的な対策等を聞く。 ※日本版DBSにおいて、スイミングスクールは義務化ではなく認定制度となる予定である。しかし、子どもたちを安心して預けるためには、委託先のスイミングスクールにおいて日本版DBSの適用を必須とすべきと考えるが、市の見解を聞く。 (3) 現在制定を目指している『富田林市こどもの権利に関する条例』に、子どもは、あらゆる暴力・虐待・体罰から保護されることを条文中に盛り込むべきだと考えるが、市の見解を聞く。
		2. 選挙について。	(1) 無効票とならないための取り組みについて。 ※第50回衆議院議員総選挙の事務処理ミスによる不在者投票の一部無効についても言及する。 ※開票において無効票となるルールを市民に分かりやすく提示する仕組みを整備すべきだと考えるが、見解を聞く。 (2) 移動困難者等の投票率向上に向けて。 ※移動困難者（身体的な障がいや高齢等の理由で、投票所への移動が困難な有権者）の実態を把握し、それに基づいた投票環境の整備を進めていくべきだと考えるが、見解を聞く。 ※移動手段を提供するモビリティサービスや、訪問型の投票システムの導入等を検討してはどうか。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			(3) 期日前投票所等について。 ※期日前投票所を増やしてはどうか。 ※新庁舎での期日前投票所の設置場所について、市民の利便性やアクセス性を十分に配慮する必要があると考えるが、見解を聞く。
9	9 番 山本 剛史	1. 闇バイトへの啓 発活動について	(1) 広報・ウェブサイトへの啓発について (2) 警察との連携で本市所在の大学・高校・中学校及び駅並びに集客施設前での街頭等啓発について
	(質問方式) 一問一答	2. 太陽光発電シス テムについて	(1) 本市公共施設（学校を含む）設置ヶ所と更新時期及び廃棄費用と更新費用について (2) 火災の際の消火方法について (3) 民間の太陽光発電システム設置施設の管理状況について (4) 再エネ賦課金による電気代高騰について、政府に対し固定価格買取制度の廃止を求めることについて
10	4 番 寺内 裕介	1. 補助金の適正 化・見直し並びに 新たな事業者の開 拓について	(1) 富田林市補助金等の適正化に関する指針（ガイドライン）の取り組み状況について。 ①終期や見直し時期の設定等について。 ②補助事業の点検・評価について。 ※補助金点検シートを活用した数値による可視化についても言及する。 (2) 補助金や委託費等の財政負担が発生しない民間事業者提案制度の取り組みについて。
	(質問方式) 一問一答	2. 本市におけるス ポーツの振興につ いて。	(1) 富田林市スポーツ推進計画について。 (2) (仮称) 富田林市スポーツ施設ストック適正化計画の策定について。 (3) (仮称) 富田林市スポーツ振興基金の設置について。 (4) 本市のスポーツ資源の整理やPR等について。 ①南河内地域における広域でのスポーツ資源の整理とPRについて。 ②本市の学校教育におけるスポーツ環境のPRについて。
11	1 番 伊東 寛光	1. 行政評価の予算 編成等への活用に ついて。	(1) 事務事業評価をフルコストで実施することについて、その後の進捗を聞く。 (2) 事務事業評価シート等の記載内容について、部署によって品質の差が大きいことについて、執行部はどのように受け止め、原因をどのように分析し、改善に向けてどのような対策を行っているのか。 ※「シートに記載すること自体」、あるいは「評価をすること自体」が目的化していないか。 ※「(3)」とも関連するが、事務事業評価シート等の記載内容が次の予算編成等に、明確に活用されていればもっと内容が充実するのではないか。 (3) 例年、廃止や見直しが行われる事業が少ないのは何故か。 ①既存の事業はほぼ全て必要かつ重要で、「廃止や見直し」を検討する余地が無いという判断をしているという理解で良いのか。 ②原課等が「廃止や見直し」の判断をしているのに、理事者が政治的判断によって、原課の判断を覆している事例はないのか。 ③「②」のような事例があるのであれば、理事者が原課の判断を覆した理由等について、公開すべきではないか。政策的意志決定プロセスの透明化の一環として、市民に対する説明責任を果たすべきだと考えるが、執行部の見解を求める。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 市立幼稚園・保育所のあり方について。	(1) 市立幼稚園の申込状況について。 ①2024年11月末日現在、全ての市立幼稚園で3歳児の申込が10人未満となったことについて、本市はどのように受け止めているのか。 ②入園希望者が減った要因について、本市はどのように分析しているのか。 ③今後の市立幼稚園の園児数の見通しについて、どのように考えているのか。 ※具体的な根拠を示しつつ答弁されたい。 (2) 本市の保育所の申込状況について。 ①保育ニーズがピークを抜けつつあるように見える現状を、どのように受け止めているのか。 ②市立保育所の募集枠の段階的縮小と、老朽化した保育所の廃止に向けた取り組みを並行して検討すべきだと考えるが、執行部の見解を求める。 (3) 市立幼稚園を当面、このままの形で存続させることによって生じる影響や課題について。 ※特に財政面や人材面等で見込まれる影響や課題について、具体的に答弁されたい。 (4) 今後の市立幼稚園・保育所のあり方の方向性について。 ①どのようなスケジュール感で検討するつもりなのか。 ※2026年10月の募集結果で、「2年連続3歳児の新入園児が10人未満となる見込みの園」がほぼ予測できる。2027年4月には募集停止となる園が確定する。特に何もなければ、同月には市長選・市議選が行われる見通しである。募集の低調が続けば、2027年度に3歳になる子どもたちは、2028年4月に3歳児として市立幼稚園に入園できなくなる可能性が出てくる。 検討にどの程度の時間を使うつもりなのか分からないが、市長が今の任期中に再配置の方針を示さなければ、時間切れで「市立幼稚園」という選択肢がなくなってしまう子どもたちが出てくるのは目に見えていると考えるが、執行部の見解を求める。 ②仮に「①」のような、いわば空白の期間がたとえ1年でも発生した場合、「富田林市立幼稚園の現状と今後の方針について（素案）」にある「子どもたちの最善の利益という観点で公による幼児教育は必要であることから、将来にわたって幼児教育を受けることができる環境を確保します」という方針と矛盾するのではないか。また、「こどもまんなか」の理念からも外れると考えるが、執行部の見解を求める。 ③本市は「①」のような、いわば空白の期間が発生しても良いと考えているのか。 ※例えば、インクルーシブ教育等を考える場合、私立の園への補助を手厚くすることにより課題を抱えた子どもを受け入れる体制を整えることで、より大きな集団の中で相互に関わりながら共に育つというのも、大切な考え方のひとつだと考えるが、市はどのように考えているのか。 (5) 私立の施設を誘致しにくい地域に、市立幼保連携型認定こども園を設立することを提案するが、これまでの検討状況等も含め、改めて執行部の見解を求める。